

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

## 1. 参加者

L 西口 山蔦 千賀 中塚 山本 山崎 矢古宇

## 2. 山城／ルート

立山連峰 龍王岳東尾根

## 3. 交通手段

車

## 4. 行動記録

<入山日 2022 年 11 月 26 日 下山日 2022 年 11 月 27 日>

11/25 21:00 西宮→25:30 立山アルペン村車中泊

11/26 8:50 立山駅→10:00 室堂→室堂平幕営

11/27 5:10 室堂→7:10 一ノ越→8:15 東尾根取り付き→11:15 龍王岳 11:30→12:05 浄土山  
→13:10 室堂平→14:30 室堂バス→15:37 立山駅

## 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

前夜の降雪予報により出発を一時間早めた。(新雪 10 c m 積雪 75 c m)

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

## 6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

土曜は室堂平に幕営。多数のテントがあり、夜間もターミナルに出入り可能であった。

翌朝は雪が止み、重たい雪に足が沈み、早々にワカンを装着。東尾根取り付き手前で視界良好になった。時間を考慮し、結果的に 2670m 地点より東尾根に入った。尾根に上がってからは山蔦さんが的確に早く抜けられるルート取りを進めてくれた。東尾根では強風だった。最後の少し立った箇所は千賀さんビレイで山蔦さんにリードして貰い、アッセンダーで登った。後ろを振り返れば急な斜面が口を開いており、雪のつきが悪く、足を取られる感じだった。ロープを出した箇所はここだけだった。山頂では真っ白な五色ヶ原を手前にアルプスの山々を楽しんだ。龍王岳から浄土山の稜線歩きも気持ち良く、足取りは重かったが景色に励まされ室堂へ。予定通りのバスに乗り帰路についた。

報告者氏名 西口 麻衣子 2022 年 12 月 1 日

(山蔦 感想)

快晴、強風の中、前のパーティーに割り込み無事バスに間に合わせたリーダーシップ！流石姉さん。ついて行きます！

(山崎 感想)

待ちに待った雪山シーズンイン！そして今回の龍王岳東尾根が、私にとって夏冬通して初めてのアルパインでした。みなさまに支えられ、これ以上ない形で一步を踏み出せました。ありがとうございました！

ドキドキしながら取り付きでアイゼンを装着し、いざ登攀開始するやいなや、のっけから怖い。ええーこんな急なところ行くの？ええー足元の雪が崩れるんだけど？ええーこの岩どうやって乗り越えるの？ええーめっちゃ風が押してくるよ？ええーわたしにはまだ無理だったのかも？

なんでこんなところ来ちゃったんだと最初はプチパニックでした。が、進むにつれ、若干ですが慣れてきたような。ええーの連続なのは変わらなかったけど、とりあえずなんでも進めばいいことに気づき、不恰好ながらも進んでいることにも気付きました。

全部ルートを作ってもらい、ノロノロ前進で、終始後方からの手厚いフォローもしていただき、さらに一部確保をしてもらいながらではありましたが、数歩おきにええー怖いと思ってる間に気づけば山頂に！頂上に抜けた時の達成感は、今まで歩いてきた他の山とはなんだか違っていました。山頂から見た北アルプスオールスターの大展望がいつもよりキラキラしてたのは、雪煙のせいだけじゃないはず！

今回もたくさんフォローいただいたおかげで本当に楽しい山行になりました。アルパイン、ぜひまた行ってみたいと思います。まいこちゃん、しゅーちゃん、みなさま、改めてありがとうございました！

(山本 感想)

Y 崎さんから N 口さんの龍王岳のことのお話をして、「じゃー空いてるし参加するよ」みたいな感じで何とかギリギリでの申し込みを完了。その時点では勝手に縦走と思っていたのですが、装備相談を受けて、東尾根として登攀があることを理解し、YouTube で確認するとそれなりに苦労することを確認してから、カムとアルパインヌンチャクを準備した。同様に Y 薦さんにもその旨を迎えに行った際にカムの準備をお願いし、往路の車でその YouTube を予習しながら向かった。

さて当日は、既に取付き部に先行パーティーが居られるのと、下山バスは 3 時半を逃すと帰神できなくなるので、若干のショートカットをし取付き開始(N ロリーダーナイス判断！)。結果準備したカムは登攀には利用せずロープも 1 回の利用となり、不要なカム持参のボツカとなり、Y 薦さんには申し訳なかった。

ラーニングポイントとしては、もっと早めにちゃんとルートの内容確認と研究をすべき点と、冬山装備・登攀道具を担いでの長時間の歩行体力が無いことを実感した次第でした。全体的には、14:30 のバスにギリギリ乗車し帰宅することが出来ましたし、当日の龍王岳から見える景色は素晴らしいものでした。N ロリーダー&メンバーの皆さんお疲れ様でした、楽しい山行となりました有難うございます。早朝に“ヴェー”鳴く声をカエル？と勘違いするほど雷鳥の声も忘れていた自分が居たことを最後に付け加えておきます。

(中塚 感想)

雪の立山は何度か行ってますが龍王岳は初めてでした。

何年か前のゴールデンウィークに浄土山から見た龍王岳は、おどろおどろしく気味の悪さを覚えながらも、登ってみたいと思わせる姿でした。

冬山企画に上がった時飛びつきましたが、ルートを聞くと東尾根とのこと。行けるんかいなと記録をいくつか見ると、ルートを上手く選べば行けそうだと落ち着きました。

当日はガスの中のスタートでしたが、徐々に真っ青な空に晴れ上がり、富士山までもが望める 360° の大展望の中、全員の脚も揃って快適に登頂できました。今シーズン最初の雪山

でしたが、大満足で終わることができ、リーダーをはじめメンバー皆さんに感謝致します。

(西口 感想)

冬山班で企画を一つ上げてと言われ、昨年 11 月の立山が良かったので、同じ時期にまた行きたいと思っていた。龍王岳は雪のある時に登ってみたかったので、ベテランの力をお借りして企画した。特筆すべきは冬山教室卒業したてのあやかちゃん、成長著しいです。

私はシーズン始まったばかりなのに、もう終わったかのような気分です。とにかく皆様、ありがとうございました！

(矢古宇 感想)

龍王岳東尾根、雪山バリエーションの入門ルート。ヤマレコとかの写真ではなんとか行けるかな？と思っていたものの、行きの車中で YouTube を見たら――ヤバい感じで気持ちが焦り、不安が一杯に。日曜は、他パーティーに先行されたものの、リーダー判断で東尾根途中から登ることに。岩稜で最初の 1 歩がうまく登れず中塚さんにお尻を支えて貰ったが、後はなんとか、ロープの助けも借り、登ることができた。ガスも晴れ、気付けば遥か遠く、富士山から槍から山々を拝め、最高のシーズンインになりました！

リーダー、皆さん、ありがとうございました。

